

横浜市立大門学校 令和二年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子	〈自分自身を高めていく力〉

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子どもが生き生きと豊かに学ぶ、開かれた学校を創ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「楽しい」「分かる」「できる」を体感する授業づくりを進め、子どもが学び合いながら自らの学力を向上させていくようにします。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、折り合いながら、協働して学校生活をつくるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣の形成や仲間づくりを進めます。 ・地域の人・もの・ことを活かした活動を通して、未来に目を向けられるようにします。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
自ら進んで健やかな体をつくろうとする子の育成	①校内研修による、体育科の授業改善を図る。 ②体力テストの結果をもとに、体力向上計画の改善を図る。 ③体力テストや「元気づかひ週間」の結果を保護者、横浜市体育協会と共有し、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。 ④体力テストの結果から重点的に伸ばしたい体力を検証し、それらを意図的に伸ばす運動や遊びを教師の中で共有し、子どもたちが楽しんで取り組めるようにする。
担当	体育部

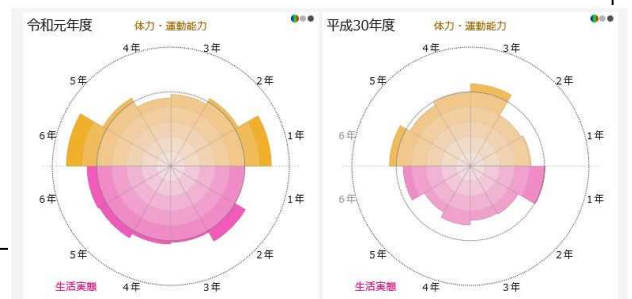
2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・生活意識調査の結果から、朝食を毎朝食べる児童は91%、一日の睡眠の時間が8時間以上の児童は、63%、一日の運動・スポーツの実施時間が1時間以上の児童は52%と横浜市の平均を上回っている。
- ・1日のテレビの視聴時間は平均を下回るものの、パソコン、ゲーム機等の使用時間は平均より長い。
- ・600名以上の児童数に対して、校庭の面積が狭いが、児童は外遊びを意欲的に行っている。また、運動場所の確保、運動の仕方の紹介として体育館を活用した「いきいきキッズタイム」、体育委員会の実施する「体力アップWEEK」も、運動機会や意欲の向上につながっていると考える。

(2) 体力の概要と要因の分析

- ・全体的に体力が高まっている傾向にある。(特に「反復横跳び」、「長座体前屈」、「ボール投げ」の伸びが顕著に表れている。)
- ・横浜体育協会と連携して行っている「いきいきキッズタイム」で重点的に行った「長座体前屈」の成果が出ている。また、リズムジャンプを継続的に行った結果「反復横跳び」にも成果として表れている。
- ・「ボール投げ」では研修会を行い、授業するにあたり指導のポイントを教員がもって授業を行うことで、成果として表れたと考える。
- ・今年度は課題である「握力」「シャトルラン(体力を高める運動)」を意図的に高める運動を体育の慣れの運動や休み時間に行えるようにする。
- ・「元気づかひ週間」を活用し、生活習慣を意識的に改善できるよう家庭と連携を図る。



3 体育・健康に関する具体的取組

教科

- 各運動領域において、運動の特性を十分楽しみ技能を高めることができるよう、段階的、構造的に運動が行えるようにする。そのために教員間での情報交換、研修等を行う。
- 保健領域では、養護教諭、学校栄養職員との連携、また道徳、特別活動、行事などの活動とも関連させて、運動や食事、睡眠などの生活習慣を整える学習を行えるようにする。

特別活動・総合的な学習の時間

- 「元気づきかぴか週間」の実施（通年）
- 学校保健委員会での健康課題への取組（通年）
- 体力の向上を目指した取組
 - ・「握力」「シャトルラン（体力を高める運動）」を意図的に高める運動を体育の慣れの運動や休み時間に行えるようにする。（通年）
 - ・体育委員会を中心とした、体育集会、休み時間を使った運動遊びの紹介。
 - ・外遊びの工夫（通年）
 - ・全校で取り組む大門ストレッチ（通年）

課外活動

- 「元気づきかぴか週間」での家庭・保護者との協力。
- 「夏季水泳」や「昔遊び」など、地域の教育ボランティアの協力。
- スポーツテストの課題から身につけさせたい力を意識したロング昼休みを利用した遊び、運動を提案、実践する。

令和2年度 横浜市立大門小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 いっぱい遊んで、体力アップ！

《ねらい》 運動機会・運動場所の確保、教員の指導力向上

《体力向上を目指した取組》

- 新体力テストの結果を数値化し、体育の授業や休み時間の遊びに生かせるようにする。
- 「元気づきかぴか週間」を通して、自分の生活をふりかえり、外遊びやコミュニケーションの機会を多くする。
- 体育・健康に関する指導を学校教育活動を通して、効果的に進める。
- 体育委員会による体育的な運動集会や休み時間に運動遊びの紹介を行う。

《指標》

- ①「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による経年変化の比較
- ②「元気づきかぴか週間」チャレンジカードのふりかえり